

東地協ニュース 2007.初春 第9号



危機意識の持続と自助

技術委員長 大竹 勉

東京直下地震の襲来が緊迫感をもって報じられるようになった。中央防災会議の「首都直下地震対策専門調査会報告」では、東京湾北部地震を想定した被害者が最大 11,000 人の死者を予測していて恐怖に駆られる。その半分以上が冬季強風下の夕方に発生したときの焼死者である。

そのなか、交通被害と駅被災による犠牲者が意外に少ないことに違和感も覚える。自助・共助・公助については、この数字を見るとどこまでできるかと不安である。

地下鉄通勤しているアナウンサーが鞆に懐中電灯とポケットラジオそして携行食品と飲料水を常備しているという話をラジオで聴いたが、私もこの十年以上はポケットラジオだけは同様にしており、地震の際には役に立った。同様な通勤者となっている今、共感している。自助とはこのようなことが基本と思う。東地協の前事務局長石井さんの第7号巻頭言を憶えておられる方も多いただろう。神田から千葉市のご自宅までを歩いて帰る試みのお話を興味深く拝読した。首都直下地震による交通機能麻痺で都内からの帰宅困難者は 390 万人とされているが、それでも歩いて帰宅しようとする被災者は多いただろう。平常時でも困難であることを体験していれば、被災で混乱した市街地を歩いて帰ろうとする無謀さに抑制がかかるかも知れない。このようなことも自助への要素と思うが、私はまだこの試みを実現させていない。

直下地震後の事業継続計画 (BCP) についてご存知の方もおられるだろう。神戸の大震災がきっかけで災害対応マニュアルを作られた会社も多いただろうが、そのままの状態ではなかろうか。10 年も経過すると人や環境もすっかり変化しているなかで使い物になるのだろうか。BCP の前に、これの見直しも必要である。危機意識の持続と自助により、自分も多くの方も助かりたいものである。

会議報告等

1. 18年7月13日 理事会・全体委員会
 - (1) 平成18年度防災展について
 - (2) 東京都土木技術センターとの意見交換について
 - (3) 協会の社団法人創立10周年について
 - (4) 慶弔規定の変更について
 - (5) 講演会の企画について(10月予定)
 - (6) 東京都の公益法人検査結果報告
2. 18年9月19日理事会・全体委員会
 - (1) 会員の入会について
株式会社 エス・ケー・シー(10月1日入会承認)
 - (2) 顧問の就任について
【新任】早坂 義弘 氏
(東京都議会議員 防災議連事務局長)
 - (3) 東京都総合防災部へのパネル貸し出しについて
 - (4) 平成18年度防災展 報告
 - (5) 平成19年度東京都予算等に対する要望について
 - (6) 10月・講演会について
3. 18年10月23日理事会・全体委員会
 - (1) 新宿区防災講演会について(12月17日開催)
地域防災リーダー対象 講師：山崎晴雄先生
 - (2) 住宅性能保証制度について
4. 19年1月17日理事会・全体委員会
 - (1) 会員の退会について
 - (2) 地盤保証制度のアンケート集計について
 - (3) 第18回通常総会について
 - (4) (社)首都道路協議会新年会について
大越会長，早田副会長出席
 - (5) 社団法人創立10周年記念事業について
 - (6) 都土木技術センターとの協力関係の推進の件
 - (7) CPD(継続教育)と協会の対応について
 - (8) 公益法人制度改革について

総務委員会活動報告

平成18年7月～12月までの総務委員会活動を報告いたします。

「8月総務委員会」8月9日 於)協会会議室

- (1) 平成18年7月収支報告
- (2) 会員入会について (株)エス・ケー・シー
- (3) 10周年記念事業準備(社団法人として設立、平成10年10月1日)について
- (4) 講演会について(10月頃)
- (5) その他

「10月総務委員会」10月18日 於)協会会議室

- (1) 平成18年8月、9月収支報告
- (2) 講演会の進行について
- (3) 10周年記念事業準備(社団法人として設立、平成10年10月1日)について

「11月総務委員会」11月24日 於)協会会議室

- (1) 平成18年10月収支報告
- (2) 東地協ニュースについて
- (3) 10周年記念事業準備(社団法人として設立、平成10年10月1日)について
- (4) その他
住宅性能保証制度のアンケートについて

(総務副委員長 佐藤 剛)

技術委員会活動報告

平成 18 年度 7 月～10 月現在までの技術委員会活動報告をさせていただきます。

「ノート部会」の活動について。技術ノート 39 号は「東京の地形と地名」のタイトルとしました。7 月～8 月にかけて谷地や坂道の多い北区、台東区、港区などに取材しました。

現在、編集作業も終盤を迎えており、細かい味付け等の好評をいただいている読みやすいノート作成をしています。なお、編集者各自にとっては一步会社に戻れば技術業務が山積している中で作業でありますのでご苦労も多く、できるだけ早く皆様にお届けしたい努力しております。ご期待ください。(会員の皆様へは 12 月 1 日発送済み)

「講演部会」では、昨年につづいて 2 度目の東京都都市整備局における職員向けの技術講習会を 7 月 19 日(水)午前午後一日かけて実施しました。内容は、土壌地下水汚染調査技術と地盤調査技術の内容で盛況のうちに終えることができました。発注者の方々からは多くの質問が寄せられて、講習会の成功が感じ取られました。

都主催の防災展示会は昨年同様に新宿西口イベントホールにて 8 月 21 日～25 日に行われました。「大地の解体新書」は入場者の方々にはかなりの人気を呼び、技術委員は汗だくになりながら対応に追われておりました。

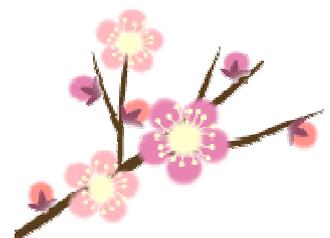
技術フォーラムは、例年どおり 11 月 2 日「ティアラ江東」で開催されました。技術発表 12 編です。また、特別講演会は技術委員の一人である応用地質(株)前原委員による「大都会に残された貴重なオアシスを保全するための長期間に渡る環境調査の紹介」で技術者のみならず誰にでも興味のある内容でした。最近、フォーラム参加者の幅が狭くなりつつあることが懸念されて

おります。これからも会員各社技術者の皆さんの技術発表と討論を待っておりますので是非参加申し込みをしてください。

「環境部会」は、環境事業の各種業界団体とのパイプづくりを進めております。7 月に日本分析機器工業会と会見をいたしました。業界規模の違いや市場における関連性において接点が少ないと判断されました。また、10 月 17 日(火)に(株)環境管理センターの分析基礎研究所(八王子市)への見学会を昨年が続いて実施いたしました。参加者 12 名からはアンケートに答えていただいておりますので次回にはご報告させていただきます。

私たち技術委員会は、会員皆様のサービス向上に前向きに取り組みながら、遊び心を絶やさずに活動を楽しんでおりますのでご支援下さい。また、時代の要請に応える活動を推進するためにも皆様の中からの委員参加(主に環境部会委員)も呼びかけております。

(技術委員長 大竹 勉)



広報委員会活動報告

平成 18 年 7 月～12 月までの広報委員会活動報告をさせていただきます。

平成 18 年度 第 2 回広報委員会 18 名参加
(平成 18 年 9 月 22 日 15 時～17 時)

議題

1. 理事会・全体委員会(9月)報告
2. 帰宅困難者対策訓練参加報告
3. 平成19年度予算に対して都議会自民党への要望事項報告
4. 業務案内の一部改訂について
5. 広報活動について

平成 18 年度 第 3 回広報委員会 14 名参加
(平成 18 年 12 月 15 日 15 時～17 時)

議題

1. 理事会・全体委員会(10月)報告
2. 各担当地区の広報活動状況報告

後期広報活動は、1月～3月にかけて実施の予定

(広報委員長 中込 実敏)



トピックス(協会行事紹介)

平成 18 年度防災展

平成 18 年 8 月 22～25 日、JR 新宿駅西口にて、東京都主催による防災展が開催され、協会はパネル展示及びパソコンによる地盤検索コーナー等を出展した。



防災パネル展示



パソコンによる
地盤検索コーナー



[防災講演]
防災科学儀技術研究所
若松先生



[防災講演]
建築研究所
田村先生

東京都 2006 技術フォーラム



東京都 2006 技術フォーラムは、平成 18 年 11 月 2 日（木）江東区公会堂の「ティアラこうとう」において開催されました。

本フォーラムは、毎年 11 月に開催されており、技術ノートとともに技術委員会の活動の大きな柱となっています。その目的としては、会員会社お互いの技術的な向上を目指して実施しておりますが、若手技術者に積極的に参加していただいて、少しでも発表の練習になればという思いもあります。

本年は、技術発表 12 編と特別講演 1 編の講演がありました。当日は 70 名の参加をいただき、大変有意義な発表会となりました。

発表会は 12 編の発表を 3 つのセッションに分けて行われました。

第 1 セッションは、一般の地質調査や試験方法について、ビデオコーンによる油分の判定、軟弱地盤の動態調査、史跡の環境計測、砂州の物性等の発表があり、第 2 セッションは、主に物理探査について、レーダ探査の事例、近接盛土による基礎の健全性評価、湖の水理と電気探査、レーダ探査による構造物の自動診断等の発表があり、第 3 セッションは、水理地質と数値解

析について、遮水層の評価、トンネルの代替水源調査、低土被り山岳トンネルの応力解析、亜炭廃坑の破壊過程の実験及び解析について発表が行われました。

また、特別講演は、当協会技術委員でもある応用地質株式会社の前原俊春氏による「大都会に残された貴重なオアシスを保全するための長期間に渡る環境調査の紹介」ということで、地下鉄工事に伴う前例を見ない二十数年に渡る環境調査の事例を紹介していただきました。その長大なスケールに驚くとともに、今後の環境調査全般に多大な影響を与えるものと思います。

また、午後には、阿部技術委員より(社)日本環境測定分析協会の自主認定制度である「環境測定分析士制度」について紹介がありました。

フォーラム終了後は、場所を隣の部屋に移し、46 名の参加をいただいて盛大に懇親パーティを開催いたしました。

最後に、貴重な講演をいただきました前原氏はじめ発表をいただきました講演者の皆様、また、お忙しい中当フォーラムに参加いただきました各社の皆様に厚くお礼申し上げます。

(技術委員 世森祐一)

会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 会員の入会

株式会社エス・ケー・シー

代表者)代表取締役 黒田和文氏

住所)〒134-0084

東京都江戸川区東葛西6-18-8

TEL) 03-5675-7561

FAX) 03-5675-7562

(2) 会員の退会

株式会社 日建ソイルリサーチ 東京事務所

株式会社 村田製作所 (賛助会員)

(3) 代表者の変更

・総合地質調査株式会社

代表者)[新] 代表取締役 長谷川 正 氏

[旧] 代表取締役 畑山 富夫 氏

・協和地下開発株式会社

代表者)[新] 代表取締役 横山 克男 氏

[旧] 代表取締役 沢田 勝己 氏

(4) 会社名、代表者の変更

[旧会社名] 株式会社 ジオ・ブレーン

[新会社名] 株式会社 アイコン 東京営業所

代表者)[新] 代表取締役 盛岡 清和 氏

[旧] 代表取締役 柴田 亘 氏

住所、電話番号の変更はございません。

(5) 住所の変更

・株式会社 アジア共同設計コンサルタント

[新] 〒160-0005

新宿区愛住町19-16 富士ビル

TEL 03-3356-1051

FAX 03-3356-1185

・株式会社 サンライズ (賛助会員)

[新] 〒101-0061

千代田区三崎町2-1-8 水道橋サンコービル

電話及びFAX番号には変更はございません。

行事日程

日程	行事名・内容等
1月26日(金)	技術者のための新春の集い (関東協会) 於：京王プラザホテル
3月20日(火)	第18回通常総会 (予定) 於：測量地質健保会館

・ 編集後記 ・

東地協ニュースも次号でいよいよ第10号を迎えます。更なる紙面の充実を目刺し新企画として会員の方々からのエッセーを紹介する「会員コーナー」をスタート致します。原稿の内容は、旅行記・回想記・所感・抱負・近況・評論・自伝・句集など..... あらゆるジャンルの作品をお待ちしています。採用された方には、図書カードを進呈いたします。ぜひ、ふるってご応募ください。原稿は随時募集致します。(メール、FAX等で東京協会事務局へお送り下さい)

訃報

東京協会・会員の応用地質株式会社 相談役元代表取締役社長 大矢 暁 氏が、平成18年11月13日逝去されました。(享年74歳)

東地協ニュース 2007.初春 第9号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

